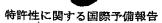
PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

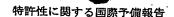
REC'D	2 4	JUN	2004
WIDC	<u> </u>		P.C

出願人又は代理人 の事類記号 52368	今後の手続きにつ	いては、	様式P(CT/I	PEA/4	16を参	照する	こと。
国際出願番号 PCT/JP03/02817	国際出願日 (日.月.年) 10	. 03.	2003	3	優先日 (日.月.年)	19.	08.	2002
国際特許分類 (IPC) Int. C1 ⁷	F25B49/	0 2						
出願人(氏名又は名称) 株式会社東芝								
							•	
1. この報告書は、PCT35条に基づき 法施行規則第57条(PCT36条)の	この国際予備審査)規定に従い送付す	機関でℓ る。	■成された	と国際予	備審查報告	 である。		
2. この国際予備審査報告は、この表紙を	 -	3		ページな	からなる。 ・			
3. この報告には次の附属物件も添付される	いている。 ページであ	る。	,		•			
補正されて、この報告の基礎 囲及び/又は図面の用紙(F	らされた及び/又 CT規則70.16及て	はこの国]際予備審 訓第 6 0	寄査機関 7 号参照	が認めた訂』 R)	Eを含む	明細書	、請求の範
□ 第Ⅰ欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙								
b					(電子	維体の窓		枚を示す)。
配列表に関する補充欄に示すよ ブルを含む。(実施細則第80	うに、コンピュー 2号参照)	タ読み取	り可能な	形式に	よる配列表ス	は配列	表に関	連するテー
4. この国際予備審査報告は、次の内容を	<u></u> 含む。	·						
 区 第 I 欄 国際予備審査報 □ 第 II 欄 優先権	与の基礎				, `			
□ 第Ⅲ欄 設元権 □ 第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 □ 第Ⅳ欄 発明の単一性の欠如								
■ 第V欄 完める単一性の欠如 ▼ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付 」 けるための文献及び説明								
■ 第VI欄 ある種の引用文詞	次							
□ 第VI梱 国際出願の不備 □ 第VI-	5意見			•				
					,		<u> </u>	
国際予備審査の簡求むを受理した日 09.03.2004		国際予	備審査報 0		成した日 6.2004			
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP)		特許庁	審査官(権限の	ある職員)		3 M	8610
郵便番号100-8915			長崎	洋一	•		<u> </u>	
東京都千代田区霞が関三丁目4番	3 号	電話番	号 03	-35	R 1 — 1 1 0	1 rbs \$	ifa Q	377





第 I 欄 報告の基礎	-
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。	
□ この報告は、	-
2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出さた差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)	れ
× 出願時の国際出願書類	
明細審 第 ページ、 出願時に提出されたもの・ 第 ページ*、 付けで国際予備審査機関が受理したも	, O
	の
「請求の範囲 第 項、 出願時に提出されたもの 第 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの 第 項*、 「付けで国際予備審査機関が受理したも 第 項*、 「付けで国際予備審査機関が受理したも	のの
図面 第	o.
配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充欄を参照すること。	
3. 補正により、下記の書類が削除された。	
明細書 第 ページ 請求の範囲 項 図面 第 ページ/図 配列表(具体的に記載すること) 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)	
4. この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))	超
明細書 第 請求の範囲 項 図面 第 配列表(具体的に記載すること) ページ/図 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)	
* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。	



国際出願番号 PCT/JP03/02817

	上の利用可能性 説明 .	についての法第12条 (PCT35条(2)) に定める見解、	
1. 見解			
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-8	_ 有 _ 無
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-8	_ 有 - 無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-8	· 有 · 無
2. 文献及び説明 (PCT規則7	(0. 7)	·	
· ····································			

文献1: JP 7-337081 A (株式会社東芝) 1995. 12. 22 文献2: JP 2001-165552 A (三菱電機株式会社) 2001. 0

・請求の範囲1-8

デューティー測定手段によって測定したデューティー値が、デューティー測定基準時間で測定したデューティー値を基準にしたデューティーで変動幅を越えたたか否を判定するデューティー判定手段と、駆動値測定手段によって駆動値測定基準時間で測定した駆動値判定手段と、駆動値測定手段によって駆動値測定基準でで測定した駆動値判定手段と、前記デューティー判定手段においてデューティー変動幅を越えたと判断され、かつ、前記駆動値判定手段において駆動値基準変化率を越えない判断されたときに可燃性冷媒が漏れたと判定し、また、前記を上半を担定手段においてデューティー変動幅を越えたと判断され、かつ、前記を上半定手段においてデューティー変動幅を越えたと判断され、かつ、前記を上半定手段において駆動値基準変化率を越えたと判断されたときに可燃性冷媒が漏れてよいでよいと判定する冷媒漏れ判定手段を有することは国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。